

合格体験記

富山大学 薬学部 薬学科

■学校生活

入学～高校3年6月。この間私は剣道部に所属し、毎日部活動に取り組んでいました。勉学との両立を目指し、どの教科も授業中に理解することを意識しました。塾に通っていなかったため、分からないことがあればその日のうちに先生方に質問し、一度は自分なりに理解するようにしました。質問するにあたり分からないところを言語化することも、より深い理解に役立つのでお勧めです。また、定期テストは範囲が指定されており、分野ごとに仕上げるができるため、もし直前に詰め込むことになっても力になります。

■受験勉強

3年生の6月に部活動を引退し、7月から受験対策の勉強を始めました。

○大まかなスケジュール

7、8月が基礎固め、9月が模試の過去問やり直し、10月、11月は推薦入試対策、推薦入試後から共通テストまで共通テスト対策、共通テスト後から二次試験対策。

○具体的な取組

学校の補習には積極的に参加しました。少人数で指導が受けられるため効率的に得点に繋がります。

共通テスト対策では、傾向が大きく変わった科目は過去問より予想問題に重点的に取り組みました。共通テストは時間配分に大きく左右されるため、実際の試験時間を意識した演習をしました。英語は特に慣れが重要だと思ったこと、志望校は英語の配点が高いことから、冬休み～テスト前日まで夕方に時間を計り取り組みました。先生にアドバイスをいただき、解く順番を工夫したことも本番での得点に繋がりました。

二次試験対策では志望校の赤本と教科ごとの対策をしました。午前中は数学、午後は物理・化学というように、実際の試験時間を意識して取り組みました。数学は志望校の過去問に加え、傾向が類似している大学の過去問を解き、先生に添削をお願いしました。二次試験は部分点を取ることも重要になるため、添削をしていただくことでより採点者を意識した回答づくりにつながります。物理は過去問、類題に加え同じ問題集を繰り返し解きました。物理は特に考え方が重要となるため繰り返すことが力になります。この時期は新しい問題集は買わない方がいいといわれていますが、私は化学の演習量に不安があったため、一冊買いました。自分の学習計画を考えた上での購入であれば問題ないと思います。二次試験の科目は学校から配られた問題集だけでなく、自分で選んだ一冊があるとやる気や自信に繋がります。

○併願校

併願校を探す際は大学のHPから研究室紹介を見ると自分のやりたいことができるの
かわかりやすいです。共通テストのみで受験できる私大の共通テスト利用を受験しました。
受験に行く必要がないので、国立前期の対策に時間をかけることができました。

■後輩へのメッセージ

私は特別なことは何もしていません。学校での授業と補習が中心です。自分の取り組み次第で
希望を実現できます。疑問や不安は先生方に相談してください。先生方は心から私たちを応援し
てくれる受験のプロです。たくさん頼らせていただきます。

私は最後の模試もE判定でした。学部変更を何度も勧められました。一度不合格も経験しまし
た。辛いことも多かった受験期は、同時にたくさんの方の優しさを知りました。

模試の結果や周囲との比較から落ち込むこと、焦ることがあるかもしれませんが、志望校との
距離は伸びしろです。やりたいと思った時がベストタイミングです。勉強できることに感謝し、過去
の自分を否定せず、今の自分を愛しましょう。きっと明るい未来をつかむ日が来ます。応援してい
ます。